

「ハイパー江戸博：明治銀座の時間旅行」展 シンガポールで開催 ～10 月 30 日から「XR で体験する、明治期日本への新しい入口」をお届け～

国際交流基金（JF）は、2025 年 10 月 30 日から、シンガポール・Japan Creative Centre において、海外巡回展「Time Travel in Ginza Street of Meiji Era - Hyper Edohaku（ハイパー江戸博：明治銀座の時間旅行）」を Japan Creative Centre と共催します。

本展では、東京都江戸東京博物館が開発・制作した XR^{注記}コンテンツ「エクストリーム江戸博」を開催地に合わせて多言語化・仕様最適化し、来場者参加型の体験展示として紹介します。ヘッドマウントディスプレイを装着して明治期の銀座を VR（仮想現実）で体験し、人力車や蒸気機関車などの文物を MR（複合現実）で鑑賞できる 30 分プログラムを中心に、自身の動きに合わせてキャラクターが動くインタラクティブコンテンツ、XR 映像と体験者を合成したリアルタイム映像の投影、キャラクターと一緒に写真撮影できる AR（拡張現実）など、多彩なデジタル体験をお楽しみいただけます。また、会場内には江戸東京博物館収蔵品の複製も展示します。映像やインタラクションを通して、開国を経て近代化が進む明治期の日本を体験しながら、歴史と文化への理解を深めていただく機会を創出します。

シンガポール会場のオープニングイベントとして、10 月 30 日に「エクストリーム江戸博」の開発を行った東京都江戸東京博物館学芸員・沓沢博行氏による講演を予定しています。明治という時代をどのようにデジタル化したのか、同館でのデジタルコンテンツ開発の目的と制作過程についてお話しいただく予定です。

本展は、JF が日本文化を海外へ紹介する活動の一環で継続的に実施している「巡回展事業」として新たに制作しました。シンガポールでの開催後、タイにも巡回予定です。

注 XR：Extended Reality（エクステンデッド リアリティ）の略称で、現実世界と仮想世界を融合させて新たな空間を生み出す仮想現実（VR）、複合現実（MR）、拡張現実（AR）などの先端技術の総称です。



VR 体験のイメージ図

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

記

■ 展覧会概要

名称	Time Travel in Ginza Street of Meiji Era - Hyper Edohaku (ハイパー江戸博：明治銀座の時間旅行)
会期	2025 年 10 月 30 日 (木) ～11 月 7 日 (金) 休館日 11 月 2 日 (日)・3 日 (月)
開場時間	10 月 30 日 (木) 13:30～18:00 10 月 31 日 (金) ～11 月 7 日 (金) 10:00～18:00 (13:30～14:30 は閉室)
入場料	無料
会場	Japan Creative Centre (4 Nassim Road, Singapore 258372)
オープニング記念講演	10 月 30 日 (木) 19:00～20:00 (18:30 開場) 講演者：沓沢博行 (東京都江戸東京博物館学芸員)
記念講演お申込み、ほか詳細	https://www.sg.emb-japan.go.jp/JCC/
主催	国際交流基金 (JF)
共催	Japan Creative Centre
特別協力	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館



■ 講演者略歴

沓沢博行 (くつさわ・ひろゆき)

神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士前期課程修了。2007 年より東京都江戸東京博物館学芸員。専門は日本民俗学および日本近代史。博物館では展覧会のほか、アプリケーション開発などデジタルコンテンツの整備を担当。著作・論文に『日本のタイル 100 年 美と用のあゆみ』(共著) 2022 年 4 月 トウ・ヴァージンズ発行、『江戸のスポーツと東京オリンピック』2019 年 7 月 (特別展図録)、『企画展 東京 150 年』2018 年 8 月 (企画展図録)、「興行街から活動写真街へー公文書から見る明治末浅草六区の変容」『東京都江戸東京博物館 調査報告書第 33 集』2018 など。

【国際交流基金について】

国際交流基金は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

国際交流基金 (JF) では、日本の美術や文化を海外へ紹介する活動の一環として、海外に巡回する巡回展事業を継続的に行っております。



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 (広報担当：福島、熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

巡回展は、陶芸・工芸・日本人形など日本の伝統美を紹介する展覧会から、現代美術・写真・建築・デザインなど現代の日本を伝える展覧会まで多岐にわたっており、約 15 の展覧会が常時巡回に供され、年間 100 以上の美術館、文化機関などで開催されております。

国際交流基金 公式ウェブサイト 海外での巡回展

<https://www.jpff.go.jp/j/project/culture/exhibit/traveling/index.html>

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－について

JF は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpff.go.jp/> では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpff.go.jp